

全設定を自動化
オペレーター様作業負担を軽減します

全自動波形荷重計

Automatic Wave Monitor



全自動で最適な荷重を監視制御

各工程の荷重データを収集、最適化して各種設定を自動で行います。
時間経過と共に発生する温度ドリフト等にも自動追従し、面倒な設定作業を軽減します。

全製品の荷重データ、設定を記憶

一度生産した製品は、製品毎に各種データが記憶されます。このため次回の生産の際は、1回目の圧造から荷重監視（荷重ピーク上限値）が可能です。
初めての製品でも大まかなデータを手動で入力すれば、同様に1回目からの荷重監視が可能です。

iControl

最適設定後の荷重波形にて微小荷重変化を捉えたい場合に、範囲を指定して細かな波形監視が行える機能です。

1回転毎のピーク荷重データ出力

全工程の1回転毎のピーク荷重データをPLC等Ethernet接続にて提供することができます。
工具寿命、品質管理等、データの一部としてお役立てください。



荷重データ計測表示機能

荷重データを最大8チャンネル計測・表示します。荷重データの計測は自動的に計測期間を判断し、荷重データが最適に表示されるよう、自動的にゲイン調整を行います。
波形は単独同時で2工程・4工程表示することが可能です。

異常検出機能・異常信号

荷重データに対して、出荷時設定値・任意に設定された値での割合で基準波形を生成し、計測波形との比較を行い、異常有無の判定を行うことが可能です。
また、任意に設定することで検出部分を3分割することが可能です。異常発生時には異常信号を、外部装置等へ出力します。

初期未検査機能

装置導入初期設定時に任意に設定可能な初期未検査数により、機械運転開始時等の不安定動作による荷重データにて異常検出を行わない様にする機能です。
波形が安定すれば、自動的に解除され異常検出を行います。
但し、荷重ピーク値にて上限異常は常時検出します。

ダイレクト表示機能

荷重センサーと、各入出力信号の状態を表示確認することが可能です。
各入出力の状態確認に使用します。

過去荷重呼出機能

過去16回分の波形データおよび異常発生状況の確認が可能です。

商品仕様

型式	AWM
名称	全自動波形表示型荷重計
測定仕様	荷重波形表示
構造	分離設置型
使用可能センサー	ピエゾセンサー／歪ゲージセンサー
入力	荷重信号＋、荷重信号－(専用ケーブル入力) 原点信号、送り信号、間歇信号 異常リセット入力、間歇ワーク有信号 (無電圧無接点トランジスタ出力を使用前提) 外部アイソレーション電源 DC24V
出力	異常信号、補助信号 NPNオープンコレクタ 最大50mA (DC24V以下) ※容量性負荷は接続不可 ※各社PLC対応 入力ユニットに対する出力を前提
定格：電源電圧	AC100V±10% 50/60Hz
消費電力	約 100VA
寸法（一体型）	310(W)×340(H)×190(D) mm

※本仕様は断り無く変更になる場合がございますので予めご了承下さい。

《お問い合わせ先》